

医療安全推進週間 令和6年度の報告まとめ

- 1 医療安全推進週間 令和6年11月24日～11月30日
- 2 ポスター配付施設(会員施設) 500施設
- 3 報告書回答施設 112施設(回答率22.4%)

- ポスターを掲示した施設 106施設
- 「安全な医療を提供するための10の要点」を活用した施設 88施設
- ポスター掲示以外で、医療安全推進週間の取り組みをした施設 91施設



<取り組んだテーマ>

患者誤認防止	30施設
転倒転落防止	21施設
誤薬防止	18施設
感染防止	11施設
チューブトラブル防止	4施設
針刺し防止	2施設

* その他

- ・指差し声出し確認
- ・コミュニケーションエラー
- ・ヒューマンエラー
- ・患者ベッドの点検・整備 等
- ・KYT活動
- ・グッジョブ報告

<テーマに対して行った活動>

確認行動の徹底	43施設
ポスターの作成	37施設
ラウンドの実施	30施設
標語の作成	25施設
研修の開催	18施設

* その他

- ・川柳コンテスト
- ・医療安全推進週間のバッジを全員がつける
- ・患者誤認防止のクイズの実施
- ・事故事例分析の演習
- ・服薬管理マニュアルの動画作成と視聴 等

令和6年度 「医療安全推進週間」 の取り組み 済生会 呉病院

1) ポスターを掲示しました。（期間中、各部署で）

済生会 呉病院

は

職員間の
コミュニケーションエラーを
なくそう

で、医療安全活動に取り組んでいます

医療安全推進週間2024 厚生労働省

2) 今年度の施設での取り組み

3 か月に1回。（5 S活動・確認・コミュニケーション・思い込み）の活動目標を部署ごとに掲示しています！

今月の医療安全推進目標
令和6年 10月 1日 ~ 令和6年 12月 31日
テーマ: コミュニケーション

相談しよう
相手の話をよく聞こう
それができる環境づくり

医局・看護部
リスクマネジメント部会

今月の医療安全推進目標
令和6年 10月 1日 ~ 令和6年 12月 31日
テーマ: コミュニケーション

引継ぎの時は、具体的に。

度を見たり、他の人に確認を頼む時は、担当者と検査内容をしっかり伝える。

検査室

リスクマネジメント部会

今月の医療安全推進目標
令和6年 10月 1日 ~ 令和6年 12月 31日
テーマ: コミュニケーション

患者情報の共有、相談をする。

リハビリテーション室

リスクマネジメント部会

今月の医療安全推進目標
令和6年 10月 1日 ~ 令和6年 12月 31日
テーマ: コミュニケーション

「伝えたはず・・・」
その思い込みが一大事!!

地域医療連携室

リスクマネジメント部会

今月の医療安全推進目標
令和6年 10月 1日 ~ 令和6年 12月 31日
テーマ: コミュニケーション

相手に伝わっていると思えない。

リスクマネジメント部会

今月の医療安全推進目標
令和6年 10月 1日 ~ 令和6年 12月 31日
テーマ: コミュニケーション

その伝達、
きちんと伝えていますか？
確認・復唱を！！
Get it right, make it safe !

薬剤科
リスクマネジメント部会

今月の医療安全推進目標
令和6年 10月 1日 ~ 令和6年 12月 31日
テーマ: コミュニケーション

伝達内容は声出し確認を怠らない

事務部

リスクマネジメント部会

3)医療安全ニュース流しました。

今月は、医療安全から
「安全な医療を提供するための10の要点」を紹介します！

患者に安全な医療サービスを提供することは、医療の最も基本的な要件の一つです。
医療機関においては、医療安全に関する職員の意識啓発を進めるとともに医療安全を推進する
組織体制を構築していくことが求められます。

「医療安全推進週間」 令和6年11月24日～11月30日

10の要点の原稿を活用し、理解を深めていませんか？

安全な医療を提供するための10の要点

- ① 根柢から安全文化 みんなの努力と活動がシステム
- ② 安全高める患者の参加 対話が深める互いの理解
- ③ 共有しよう 私の経験 活用しよう あなたの教訓
- ④ 規則と手順 決めて 守って 見直しして
- ⑤ 部門の壁を乗り越えて 意見かわせる 職場をつくらう
- ⑥ 先の危険を考えて 裏点おさえて しっかり確認
- ⑦ 自分自身の健康管理 医療人の第一歩
- ⑧ 事故予防 技術と工夫も取り入れて
- ⑨ 患者と薬を再確認 用法・用量 気を付けて
- ⑩ 整えよう療養環境 つくりあげよう作業環境

当院で強化したいところ!!

5 電線間のコミュニケーション

部門の壁を乗り越えて
意見かわせる
職場をつくらう

①率直な意見と謙虚な対応

- ・気づいたらお互いに素直に意見を伝え、周りの意見には耳を傾けましょう。

②オープンな職場

- ・上司や先輩から率先してオープンな職場づくりを心がけましょう。

③他施設との連携

- ・関係する他施設等とのコミュニケーションに努めましょう。

●医療においては多様な職種や部門が存在し、チームで医療を行っています。

●安全な医療の提供のためには、部門・職種の違いや職制上の関係を超え、他室に意見を交わしあうことが重要です。

●特にチーム内では、お互いが敬服し、協力しあえる関係にあることが不可欠となります。

●思い込みや過信は誰にでも起りうるもので、自分では気づかずにいることも、他人の目により互いに注意しあうことは、思い込みや過信の訂正にも有効です。

●なお、ひとりの患者に複数の施設がかわる場合には、外部の組織とのコミュニケーションも重要です。

医療安全推進週間取り組み

寺岡記念病院 医療安全強化月間活動

安全な医療を提供するための 10の要点

- ① 根づかせよう安全文化みんなの努力と活かすシステム ② 安全高める患者の参加対話が深める互いの理解 ③ 共有しよう私の経験活用しようあなたの教訓
- ④ 規則と手順 決めて 守って 見直して ⑤ 部門の壁を乗り越えて意見かわせる職場をつくる
- ⑥ 先の危険を考えて 要点をおさえてしっかり確認
- ⑦ 自分自身の健康管理医療人の第一歩
- ⑧ 事故予防技術と工夫も取り入れて
- ⑨ 患者と薬を再確認 用法・用量 気を付けて
- ⑩ 整えよう療養環境 づくりあげよう作業環境

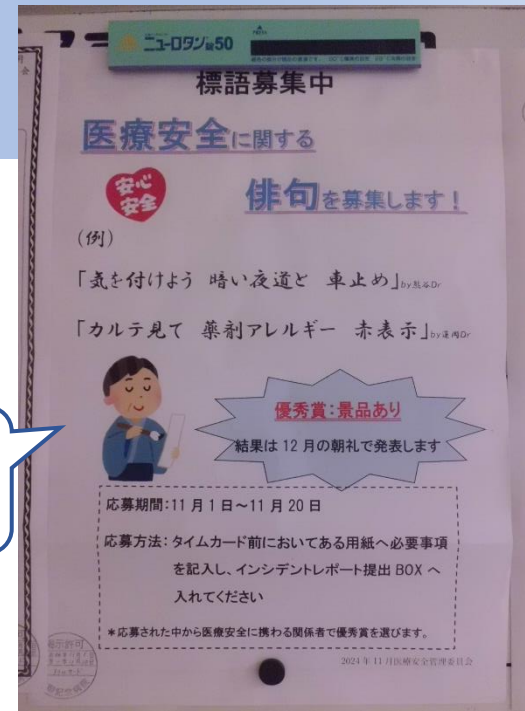
解説：●確認は、医療の安全を確保するために最も重要な行為です。
 ●ただし、漫然と確認するのではなく、業務分限を行ない、確認すべき点を明らかにした上で、要点を押さえて行うことが重要です。
 ●正しい知識を学び、的確な患者の観察や医療内容の理解により起こりうる危険を見逃すことで、事故を未然に防ぐことができます。
 ●「いつもと違う」と感じた場合には、危険が増んでいることがあるため、注意が必要です。
 ●具体的な取り組み
 ●キャッチする感性⇒「何か変」と感じる感性を大切にしましょう。
 ●確認⇒決められた確認を行ないましょう

出典：厚生労働省医政局 医療安全対策検討会議ヒューマンエラー一部
 提供：(公社)広島県看護協会 社会経済福祉委員会
 2024.7月 寺岡記念病院 医療安全管理委員会

「安全な医療を提供するための
10の要点」を毎月ひとつずつ
全体朝礼で読み上げています！

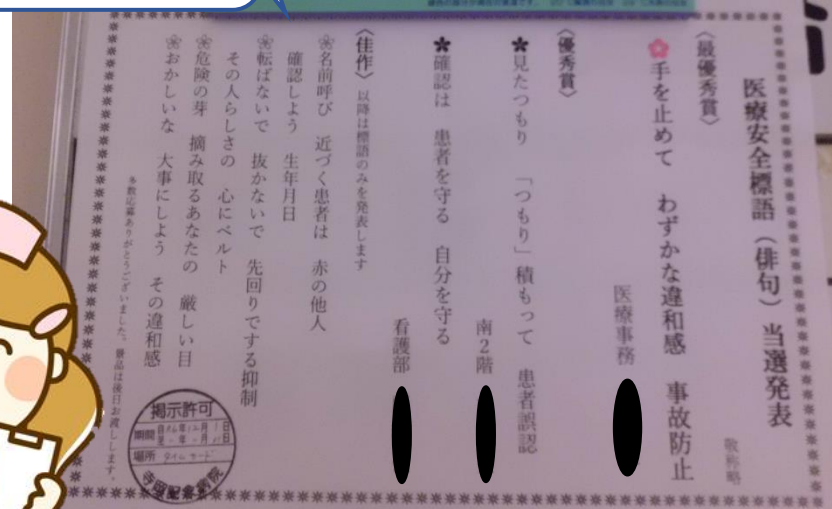
〈今年度の取り組み〉
医療安全に関する標語を募集！

応募された中から
優秀な標語を選び、掲示



安全意識の向上を目的に、今年から医療安全に関する標語を職員から募集しました。

42の標語の応募があり、その中から選ばれた最優秀賞の表彰を全体朝礼で行いました。当選者には、理事長から景品としてギフトカードが贈呈されました。



令和6年度 医療安全推進週間

①



R6.11.23 実施
広教育祭に参加
約350名来場者あり

②



③



R6.11.22～12.6ポスター展示
医療安全に関わる内容のポスターを作成
視聴者投票+職員投票にて
医療安全報告会にて表彰式を開催

④



！転倒・転落STOP週間！

日々の観察・早めの対策

情報共有をお願いします



R6年11/24～30 医療安全推進週間 医療安全委員会

医療安全推進週間 R6年度の取り組み

浜脇整形外科病院



職員の声を利用してポスターを作成し、各部署に掲示しました。

(病院22箇所、リハビリセンター9箇所)

ラウンドで、このキーワードについてインタビューをしています。



医療安全管理室では、毎月1回、ラウンドを実施しています。
その際に、スタッフから聞いた話は、医療安全推進には欠かせないことばかりです。
今年度の研修は、このスタッフインタビューの内容から医療安全キーワードに
結びつけて紹介し、今後の業務に活かしてもらう狙いで実施しました。

研修の目的のひとつに医療安全推進週間のポスター作成もあります。
研修のアンケートに「医療安全ときいて思い浮かべる言葉は？」という項目を入れ、
職員の声を集めて分析。

出現頻度 動詞 1位 守る 2位 防ぐ 3位 指さす
名詞 1位 安全 2位 患者 3位 確認

リスクマネジャー会にて、協議の結果、出現頻度の最も
高かった言葉、「守る」をキーワードとしました。

医療安全推進週間に先立ち、11/20に掲示。

11月のラウンドで、早速、職員に、
「何を守る？」「そのためにはどうするか？」
インタビューを開始。

「マニュアルを守る」そのためには「覚える、相談する」

「手順を守る」そのためには

「手順を確認する、マイルールをつくらない」

「自分を守る」そのためには

「危険予知、あれっと思ったことはそのままにしない」等、
意識の高い回答が得られています。



ほうゆう病院



R6 年 医療安全週間 標語

- ・「ハッ」とした あなたの気づきが みんなを守る
- ・守ろうよ 心と体 医療の輪
- ・慣れた頃 初心忘れず もう一度
- ・違和感を 感じた時は 声をだそう!
- ・日頃から 指さし呼称で 事故防止
- ・話し合い チームで協力 事故防止
- ・当たり前 思い込まずに 都度確認
- ・「まあいいか」の思いが招く 医療事故
- ・見たつもり その思い込みが 事故のもと
- ・思い込み 誰でもあると 刻み込む

今年度は各部署に募集をかけ、集まった標語の中から、医療安全管理委員会の委員が10個投票した中で、高得点のものを発表する方法をとりました。

医療法人一陽会 原田病院

令和6年11月24日～11月30日 医療安全週間の各部署の取り組み(テーマは各部署で選定)

部署	テーマ	活動内容
1病棟	患者誤認防止、誤薬防止	「再確認 しない後悔 して安心」の標語をポスターにして掲示、確認行動を徹底した。
2病棟	思い込みを防ぐ	インシデントが思い込みによるものが続いたので「思い込み 捨てる心が ふせぐ事故」の標語を作成しポスターにして掲示した
透析室	患者誤認防止、誤薬防止	「慌てずに 集中しよう その作業」の標語をポスターにして掲示、確認行動を徹底した
外来	虐待防止・15条委員会の周知	リスクマネージャーが、虐待防止と15条委員会のマニュアルの場所を伝え、初動について説明した。
クリニック	患者誤認防止	患者誤認防止の為、確認行動の徹底を行った
イースト	違和感への対応	「『まあいいか』違和感放置がミスのもと」で医療安全活動に取り組んでいます。のポスターを掲示した
横川	確認不足防止	部署で一番多いインシデントが「確認不足」のため、各自が防止するための具体的な行動目標を掲げ、取り組み評価を行った
クローバー	感染防止	感染防止の観点で「先の危険を考えて要点をおさえてしっかり確認」のポスターの作成と分散教育を実施した

※全部署ポスター掲示、「安全な医療を提供するための10の要点」の活用は行った

医療安全推進週間

R6.11月24日～11/30日

再確認 しない後悔 して安心



1病棟



2病棟